

4 コアリング・スパイクング

① コアリング

……………3月および6月、播種前に実施。パーチカルを同時におこなうこともある。
パーチカルは根を切る方法なので、切った根や茎をじゅうぶんに取り除く。

② スパイクング（コアリングより浅く直径も小さい穴あけ）

……………9月のみ、播種前に実施。

5 目土（砂）

年3回（3月・6月・9月）のインターシーディング、オーバーシーディング直後に、2～3mm厚で撒布する。

6 刈り込みと刈り高

刈り高は25mm前後。草丈を**5cm以上に伸ばさない**。オーバーシーディング直前の刈り高は、種子が土に密着しやすいように通常より低くするのが望ましい（20mm程度）。

7 施肥

① N・P・K（チッソ・リン酸・カリウム）＝10・10・10を基準とする

1回当たり30g/m²（30kg/1,000m²）前後とする（葉色の濃さで判断する）。

1回当たりチッソ成分で2～3g/m²を目安として、1月分を2回に分けて撒布してもよい。

② オーバーシーディングおよびインターシーディング時の施肥

● 3月…… オーバーシーディング直後に撒布してもよい。

※理由：ベースも種子も同時に生育させる。

● 6月…… インターシーディング直後に撒布してもよい。

※理由：ベースも種子も同時に生育させる。

● 9月…… オーバーシーディングの2週間前までに撒布。

オーバーシーディング後は、種子の発芽が確認されたら撒布。

※理由：播種直後におこなうと、ライグラスやブルグラスが発芽定着する前に、
リビエラが肥料を吸収して繁茂するため、種子の定着が遅れる。
とくに10月が高温の年はこの傾向が強い。

8 かん水

① 播種直後～発芽定着……………原則として毎日（表面が乾かない程度）。

② 施肥直後……………少し多めに。スプリンクラーで15～30分間。

③ 夏期および乾燥時……………リビエラは早ばつに強いので、基本的にかん水は必要ないが、
乾燥が激しい場合は、早朝に15～30分程度のかん水をおこなう。

④ 種まきの直前には、かん水をしない（濡れた葉に種が張り付いて地面に落ちなくなる）

9 オーバーシーディング後の使用制限について

① 3月および6月の使用制限は、原則として必要としない。

② 9月は下降気温の状況でおこなうので、失敗すると修復の可能性はほとんどない。
このため、播種後2回目の刈り込みが実施されるまでは使用を制限することが望ましい。

